



少年団とも交流を深める
スポーツ合宿に延べ4100人が来町

交流人口の拡大を図り、町の活性化を目指すスポーツ合宿事業も今年で11年目を迎えました。全道はもとより、全国各地から高校・大学・実業団など16団体延べ4100人が津別町を訪れました。



旭川明成高校から指導を受ける野球少年団



激しいあたりをみせる筑波大学ラグビー部



大阪産業大学の監督からシュートを教わるミニバス少年団

サッカーは順天堂大学など2団体、野球は旭川明成高校、バスケットは大阪産業大学など3団体が厳しい暑さの中、今後の大会へ向けての強化練習を行いました。

また、地元スポーツ少年団との交流も実施され、旭川明成高校野球部、順天堂大学サッカー部、大阪産業大学バスケット部などによるクリニックでスポーツの楽しさと基礎を学びました。



どんな作品ができるかな
木工体験で手作りの楽しさを学ぶ

7月28日と29日の両日、共和の木工体験工房で体験教室が開かれ、小学生から一般まで20人が木工作品づくりに参加しました。初日には小学2年生から中学1年生12人が参加して、指導者から板の切り方や道具の使い方を教わりながらベン立てづくりに挑戦。ケガをしないよう慎重に糸ノコを使って板を切り抜き、その後ヤスリをかけて組み立て、それぞれ好きな絵を描いて仕上げていました。また、一緒に来ていたお母さんたちも真剣な表情で子どもたちの作品づくりを手伝っていました。

がんばって作り上げた今回の作品は、10月に開催されるウッドクラフト展への出品も予定されています。



町教育委員会は、今年3月に全日本リコーダーコンテストに出場して、最高賞となる花村賞に輝いた活活中学校リコーダーアンサンブルに対し、教育委員会顕彰要綱に基づき、7月24日に賞状と記念品を贈りました。

教育委員会顕彰は、文化・芸術・スポーツに関し優れた実績のあった個人・団体に贈られるもので、この日代表として教育委員会を訪れた活活中学校3年の細川夏歩さんは、「全国大会で花村賞をいただいたのでプレッシャーもあるけど、楽しく演奏していきたい」と、これからの活動の抱負を話してくれました。

これからも楽しい演奏がしたい
リコーダーアンサンブルに顕彰授与

町教育委員会は、今年3月に全日本リコーダーコンテストに出場して、最高賞となる花村賞に輝いた活活中学校リコーダーアンサンブルに対し、教育委員会顕彰要綱に基づき、7月24日に賞状と記念品を贈りました。

教育委員会顕彰は、文化・芸術・スポーツに関し優れた実績のあった個人・団体に贈られるもので、この日代表として教育委員会を訪れた活活中学校3年の細川夏歩さんは、「全国大会で花村賞をいただいたのでプレッシャーもあるけど、楽しく演奏していきたい」と、これからの活動の抱負を話してくれました。

townics

まちのわだい

3地区の児童が交流 楽しく過ごしたおとまり会

8月2日・3日、活汲、本岐、津別の児童クラブによる初めての合同おとまり会が児童館で行われました。参加したのは3地区の児童42人で、はじめに記念撮影をした後、7グループに分かれてリーダーを決め、さっそく夕食のカレーづくりに挑戦。みんなで野菜などを切って約80人分のカレーの下準備を行いました。

調理後は、2階の広場でスイカ割りや新聞紙を使ったファッションショー、夜にはきもだめしを行うなど、それぞれの地域の子供たちと交流しました。



網走支庁地区老人クラブ連合会による研修会が7月31日、中央公民館で開かれ、斜網地区7市町の老人クラブから約400人が集まりました。開催町を代表して山本峯男津別町老人クラブ連合会長などの挨拶に続き、北海道消費者協会相談員の高木幸枝さんが、悪質業者の実態について講演し、あまい言葉や巧みな手口にだまされないよう注意を呼びかけました。

午後からは、それぞれの町の老人クラブを代表して自慢の踊りやカラオケなどが次々と披露され、会場の皆さんからはたくさんの拍手が送られていました。

平成20年度 網走ブロック研修会



得意な歌や踊りを披露
400人が集まり交流



水と親しみ楽しく水泳を学ぶ
夏に向けて泳ぎを練習

毎年、夏休み期間中に行っている少年少女水泳教室が、今年も7月26日から8月1日まで行われ、まだ上手に泳ぐことができない子どもたち20人ほどが真剣に練習に取り組んでいました。

1日目は、クラスごとに分れて体育指導員のもとで顔を水につけたり潜る練習をするなど、まず水に慣れるところからスタート。2日目からは水中姿勢のとり方やビート板を使って進む練習を行い、教室最終日にもなると、泳ぐたびに笑顔が出るようになって、苦手を次々に克服していました。



ダンボールを使って交流
キャンプで夏の思い出づくり

津別町子ども会育成連絡協議会主催によるダンボールキャンプが7月26日と27日、豊永の屋内ゲートボール場で行われ、28人の子どもたちが高校生ボランティアや保護者と一緒にダンボールのテントを作ってキャンプを楽しみました。

今回は、農協などの協力で集められたダンボール300枚が使われ、下駄箱や玄関扉など趣向を凝らして作りあげていました。また、南アルプス市から送られてきた竹で水鉄砲を作ったり、流しそうめんやジンギスカンで楽しい一夜を過ごしました。

8月3日、地域の交流・親睦を目的に豊永第3自治会で運動会が行なわれました。前日まで地域の人たちが忙しい合間をぬって参加者の確認や準備を進め、当日は、地域の子どもからお年寄りまで約60人が参加しました。全員で準備運動を行なった後、日頃の運動不足解消も兼ねてさっそく競技に入り、魚釣り競争や玉入れ、瓶釣り競争やパン食い競争など、たくさん種類の爽やかな汗を流しました。

競技終了後は、参加者たちが焼肉を囲み、一層の交流を図りました。



豊永第3自治会での運動会
運動不足解消と親睦を図る